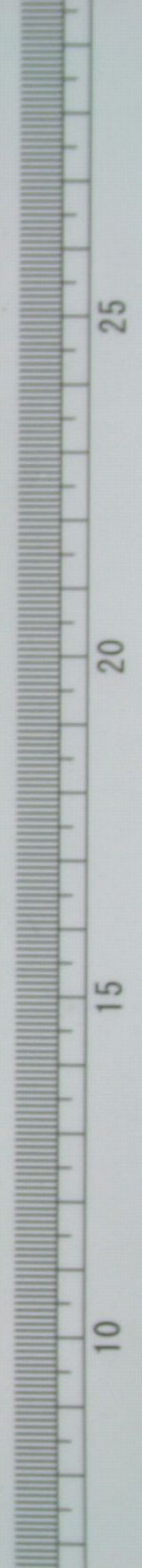




小倉文庫
イ 16
27



門 116
號

甲

天の富辰正月吉日

信利杉本

一五三三八

七〇〇八

[Redacted]

持室

いなる方々ありし

昭和二十一年
六月二十二日

寛永十一年版



去刀記

卷二



リんんきききの二目録

才一 へんうんわり
 才二 きんさくのいねん
 才三 くのうんりあ
 才四 きのんらの事
 才五 きのんらの事
 才六 木のうんりあ
 才七 いんまわりの事
 才八 木のまわりの事
 才九 木のまわりの事

梓と振假名から欠て第三種

中一 とうとうのれびから
 中二 びやうぢよるを換ふる
 中三 節うらるるまきり

芥一

入子うんの事

△ありひいせりふものゝ根株をまきだすし時
 入子まきうぬ共まきりて下へは根株まきりて

	夏二
	夏三
	夏四
	夏五
	夏六
	夏七
	夏八
	夏九

まらぬちかまきりてたふしつゝこゝろに
 まてぬちかまきりてたふしつゝこゝろに
 こゝろにたふしつゝこゝろにたふしつゝこゝろに
 こゝろにたふしつゝこゝろにたふしつゝこゝろに
 こゝろにたふしつゝこゝろにたふしつゝこゝろに

まの菊のつぼ

ひんぎん 百一十文

泥花のつぼ

ひんぎん 小瓶のつぼ

ひんぎん 三つ

まきね 百一十文

くまね 八十文

この菊のつぼ

ひんぎん 九十二文

泥花のつぼ

ひんぎん 二百五文

まきね 九十五文

まの菊のつぼ

ひんぎん 九十七文

泥花のつぼ

ひんぎん 十八文

ひんぎん 二百五文

まきね 九十五文

まの菊のつぼ

まの菊のつぼ

百六文

ひんぎん

ひんぎん

ひんぎん

ひんぎん

ひんぎん

ひんぎん

ひんぎん

九分一三厘...
百分一厘...
十分一厘...
一分一厘...
一分一厘...
一分一厘...
一分一厘...
一分一厘...
一分一厘...
一分一厘...

卷五

第三

△あら...
△あら...
△あら...
△あら...
△あら...
△あら...
△あら...
△あら...
△あら...
△あら...

卷五

△尋ふふろくく一歌天下時小然林三貴此日也
 又ひふくつらひの道之貴八百元をいふ時ふ
 二百元於八百あり
 尋のこころじ 於在の 出百はれ也
 うんらんし 於在の 八百元也
 又のこころのつら 九元元也
 大に於八百元をうんらんしつらふ
 尋ふふろくくつらふ也

一、百、元、を、名、に、付、し、也

一、百、元、を、名、に、付、し、也

一、百、元、を、名、に、付、し、也
 一、百、元、を、名、に、付、し、也
 一、百、元、を、名、に、付、し、也

一、百、元、を、名、に、付、し、也
 一、百、元、を、名、に、付、し、也

一、百、元、を、名、に、付、し、也

一、百、元、を、名、に、付、し、也
 一、百、元、を、名、に、付、し、也
 一、百、元、を、名、に、付、し、也

待て 雲木

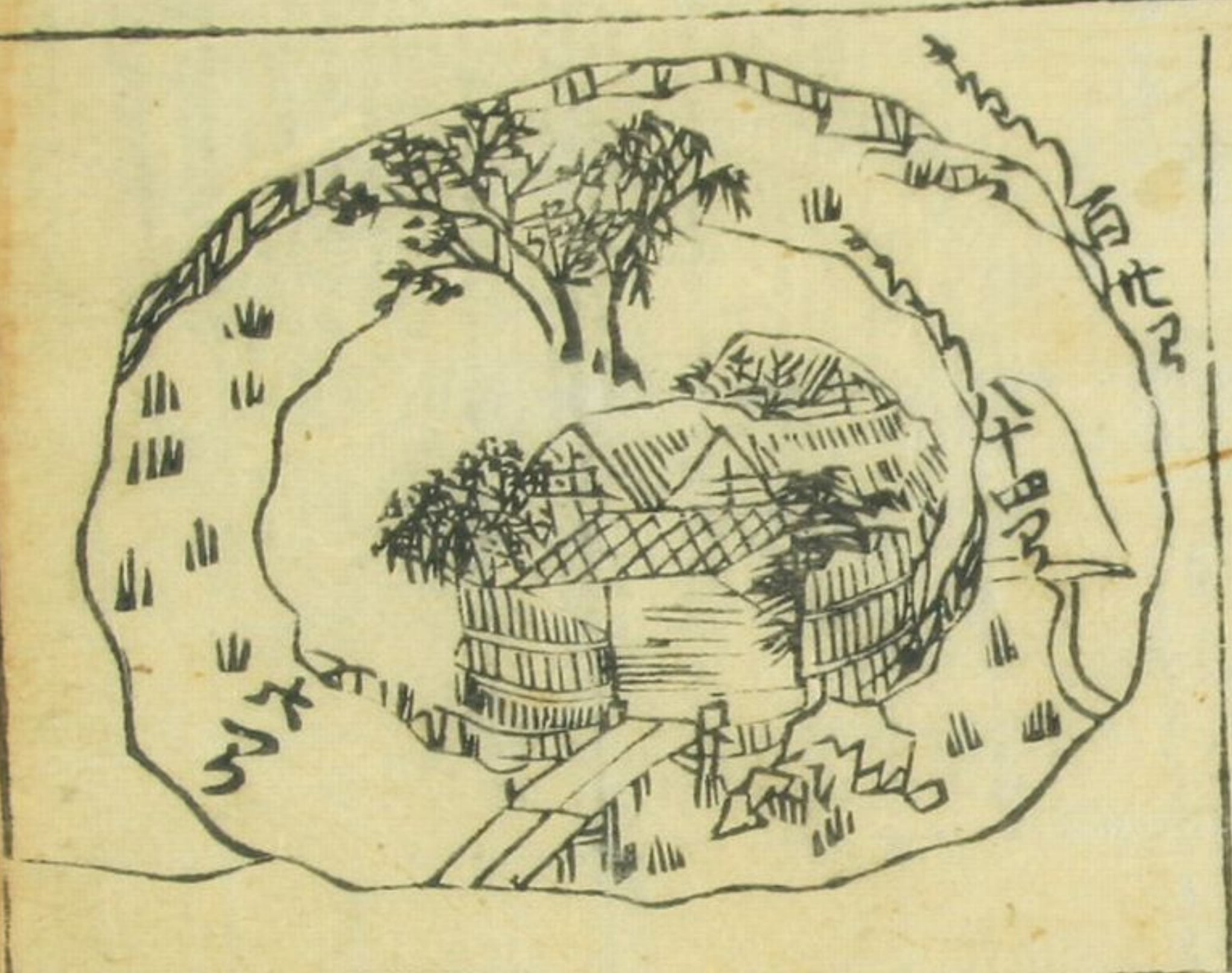
長字八つ百
 二反八畝十畝
 二反

長字八つ百
 二反八畝十畝
 二反

長字八つ百
 二反八畝十畝
 二反

長字八つ百
 二反八畝十畝
 二反

待て 雲木



長字八つ百
 二反八畝十畝
 二反

新産法

長水石の三々字
 二及一敵九分九分り

くみさくみすとせしめれ九二五すゆ又たふ
 うこ十箇をうらまひてりりかかきと
 かたれ十五とせしめれ九二五すゆ又たふ
 一五の陣書十十陣を二下しとせしめれと
 一陣の法に二三又せつれ九二五すゆ又たふ
 かりとせしめれと二箇陣せつれ九二及一敵
 九八分九分り

まつたてし水又
 るさくすも
 ぶさくすも

音韻考

△ 同長し水なるる字の射りてりつこの
 三々字とせしめれとせしめれ九二五すゆ又たふ
 二枚の陣書十十陣を二下しとせしめれと
 一五の陣書十十陣を二下しとせしめれと
 かりとせしめれと二箇陣せつれ九二及一敵
 九八分九分り

とことん

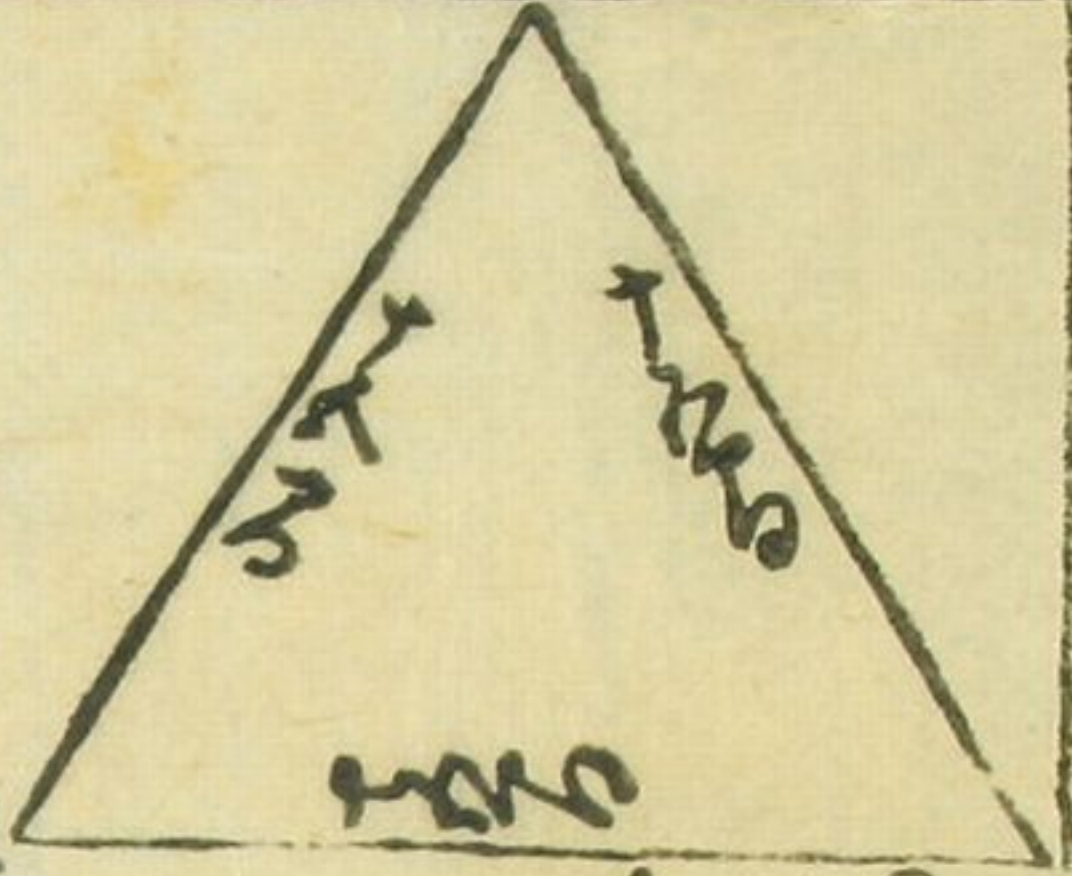
新入部員

唐二

八家

天部

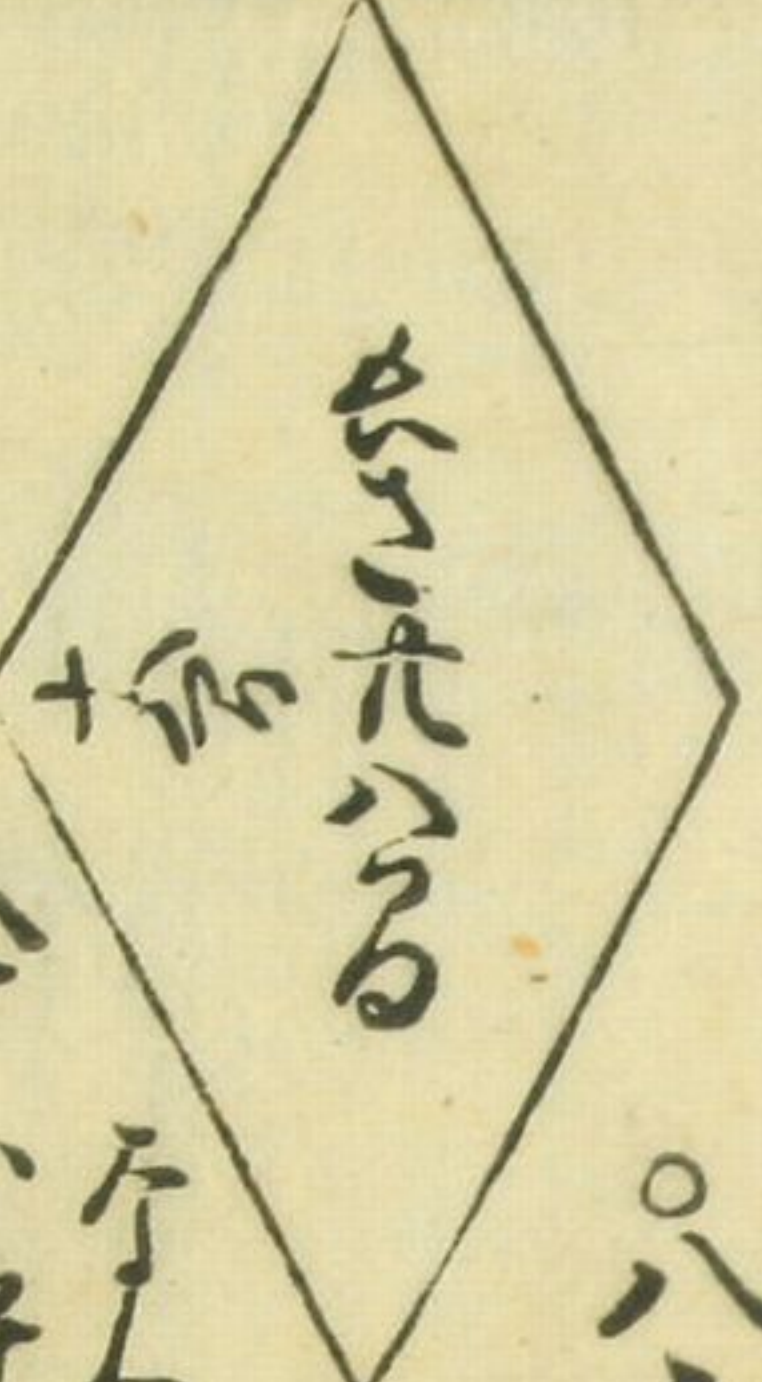
とことん二百枚ありては九家ありては八家ありては七家ありては六家ありては五家ありては四家ありては三家ありては二家ありては一ありては無し



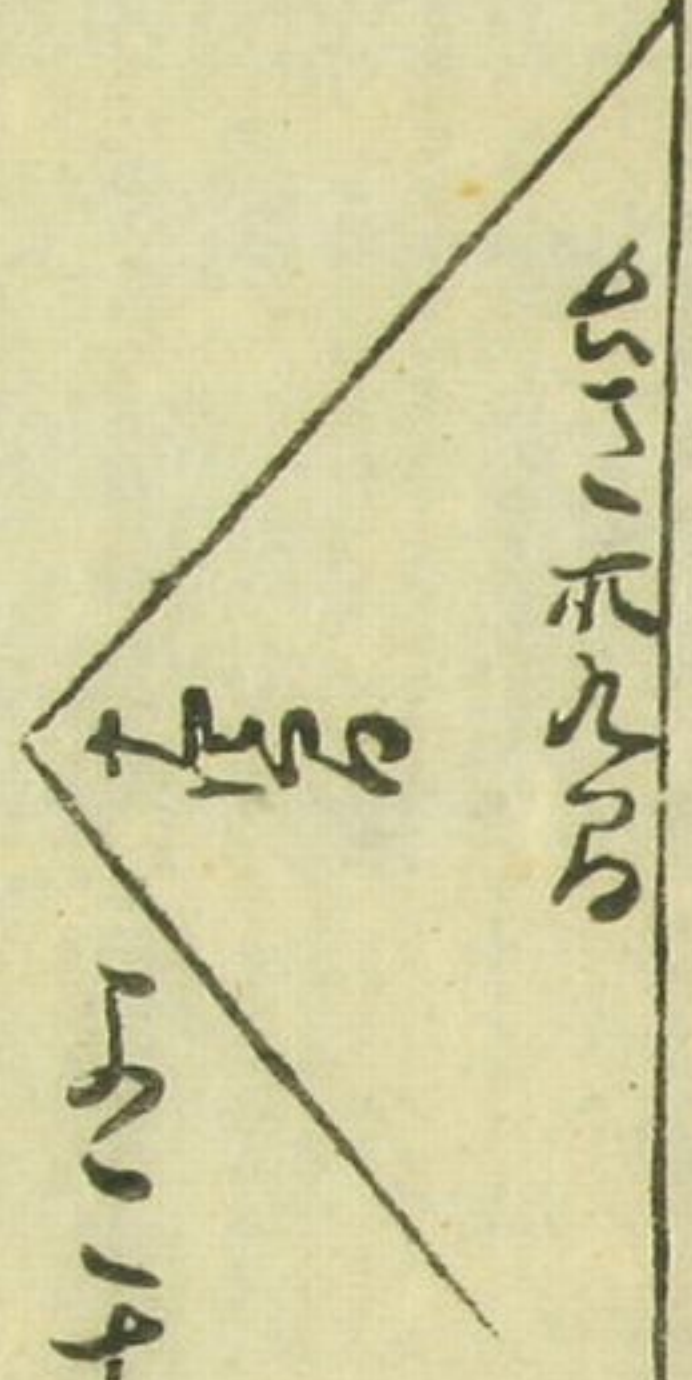
とことん二百枚ありては九家ありては八家ありては七家ありては六家ありては五家ありては四家ありては三家ありては二家ありては一ありては無し

とことん二百枚ありては九家ありては八家ありては七家ありては六家ありては五家ありては四家ありては三家ありては二家ありては一ありては無し

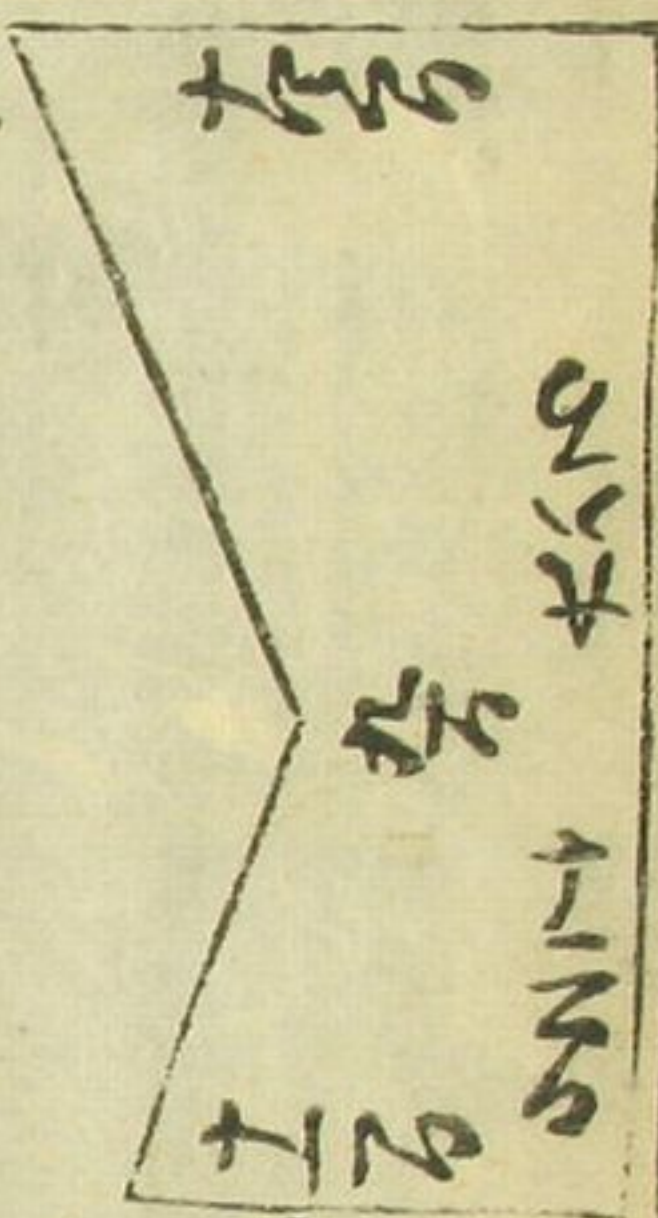
八家ありては



とことん二百枚ありては九家ありては八家ありては七家ありては六家ありては五家ありては四家ありては三家ありては二家ありては一ありては無し



とことん二百枚ありては九家ありては八家ありては七家ありては六家ありては五家ありては四家ありては三家ありては二家ありては一ありては無し

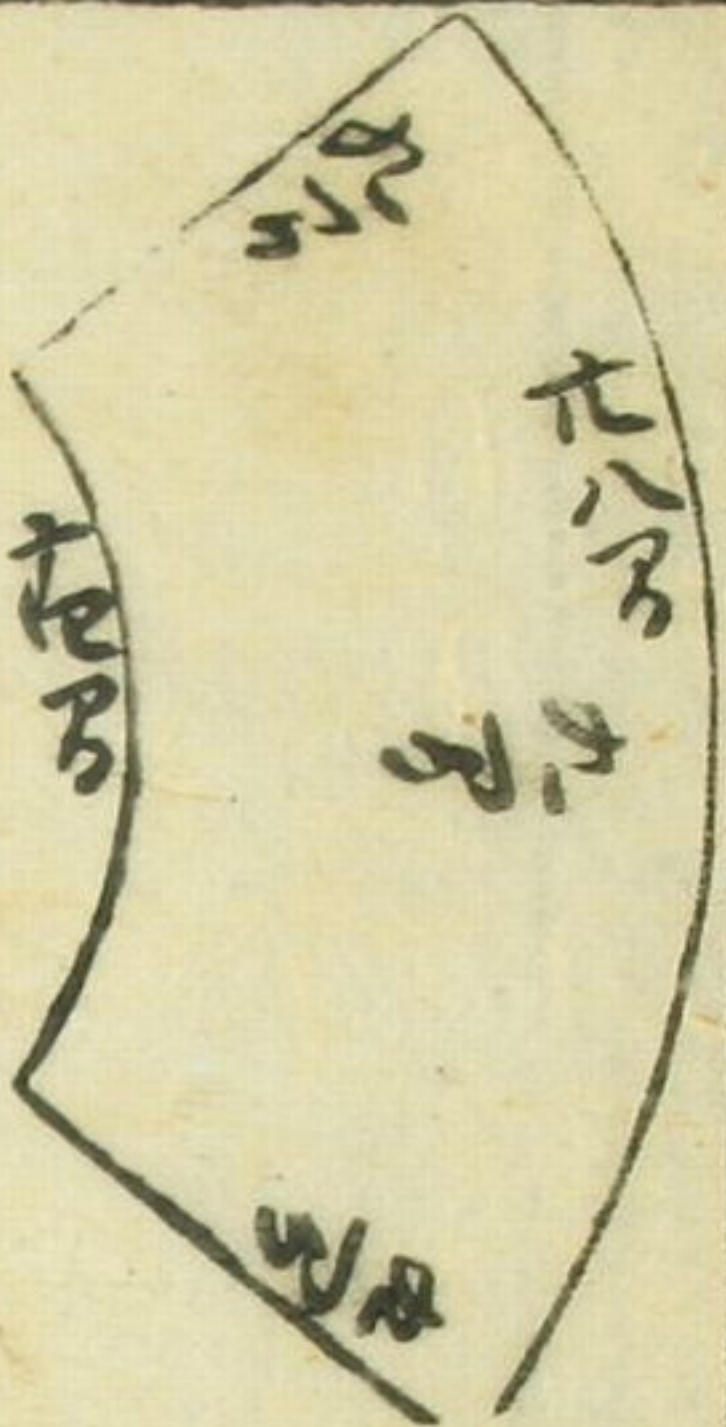


○一及二敵九二敵

十
十一
十二
十三
十五

○一及二敵九二敵
 十
十一
十二
十三
十五

十一

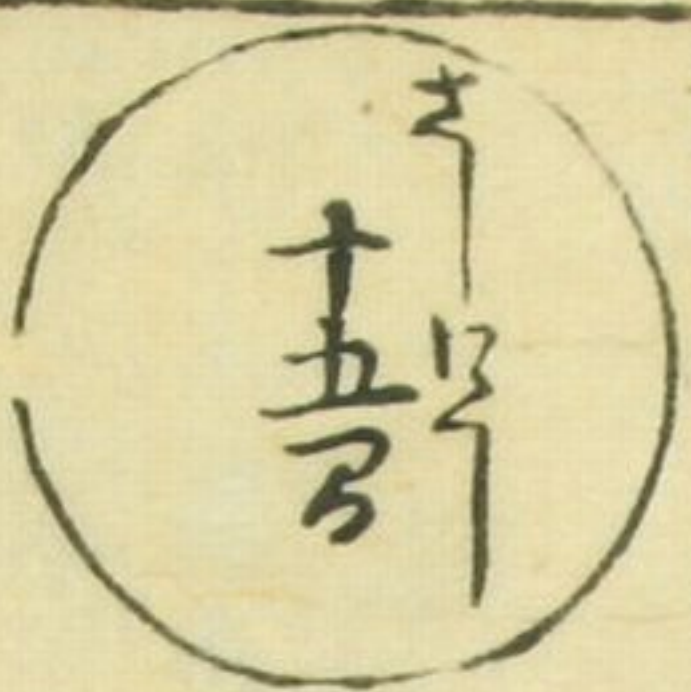


○六敵九敵

十
十一
十二
十三
十五

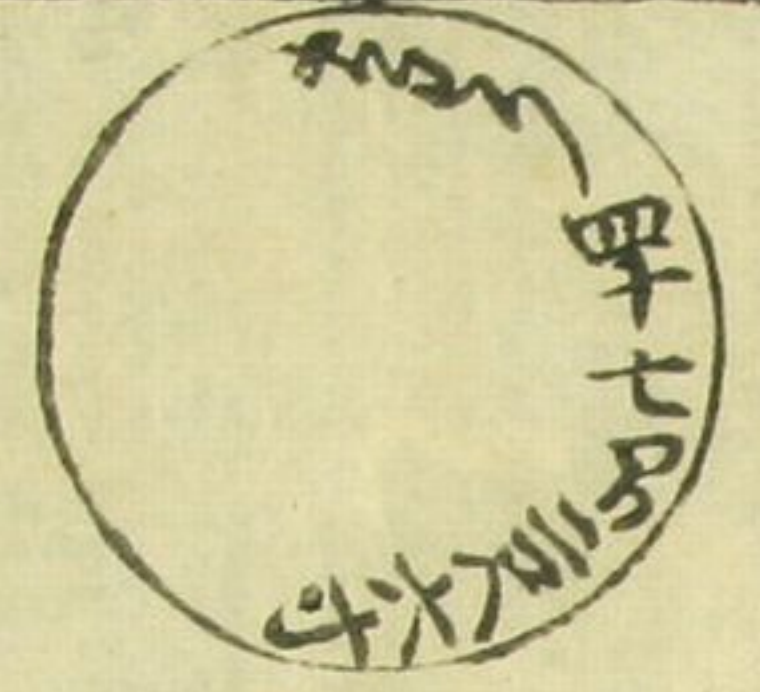
○六敵九敵
 十
十一
十二
十三
十五

十一



○五敵九七敵七分

十五
 ○五敵九七敵七分



○五敵九七敵七分

十五
 ○五敵九七敵七分

Handwritten scribbles at the top of the right page, possibly representing a diagram or a specific notation.

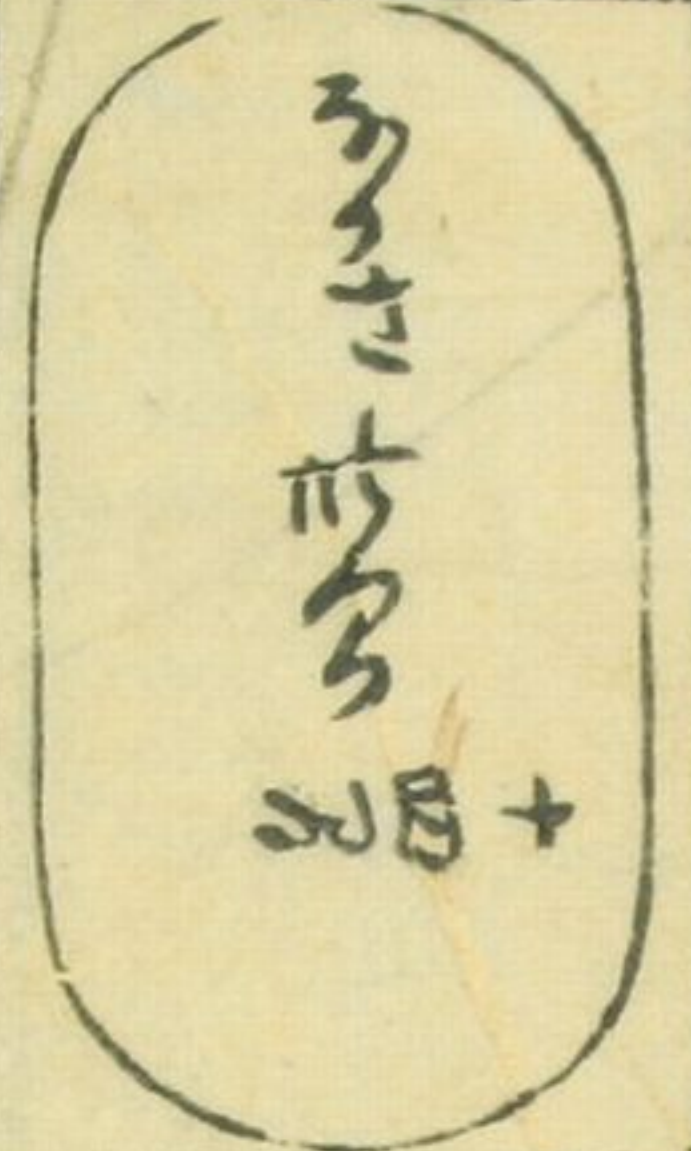
十六高
訓

○一及二敵十の分り
 長本二の分り
 十二降の分り
 一及三敵十の分り



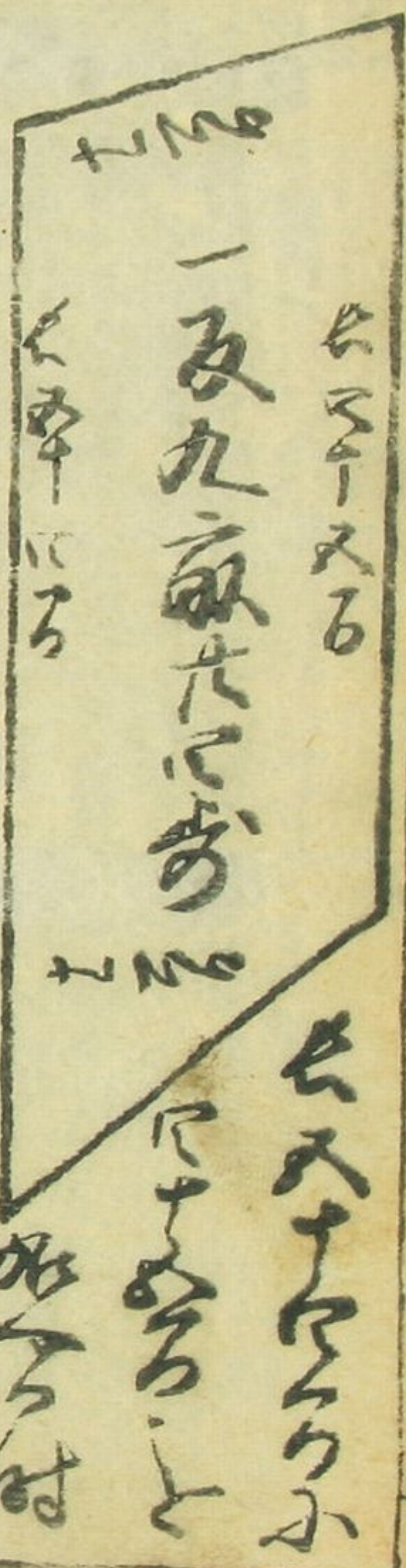
○一及二敵十の分り
 三の分り
 三の分り
 三の分り

Handwritten text at the top of the left page, possibly a title or a specific notation.



○一及二敵十の分り
 八の分り
 九の分り
 十の分り
 十一の分り
 十二の分り
 十三の分り
 十四の分り
 十五の分り
 十六の分り
 十七の分り
 十八の分り
 十九の分り
 二十の分り

~~長六尺~~
 長六尺
 長六尺

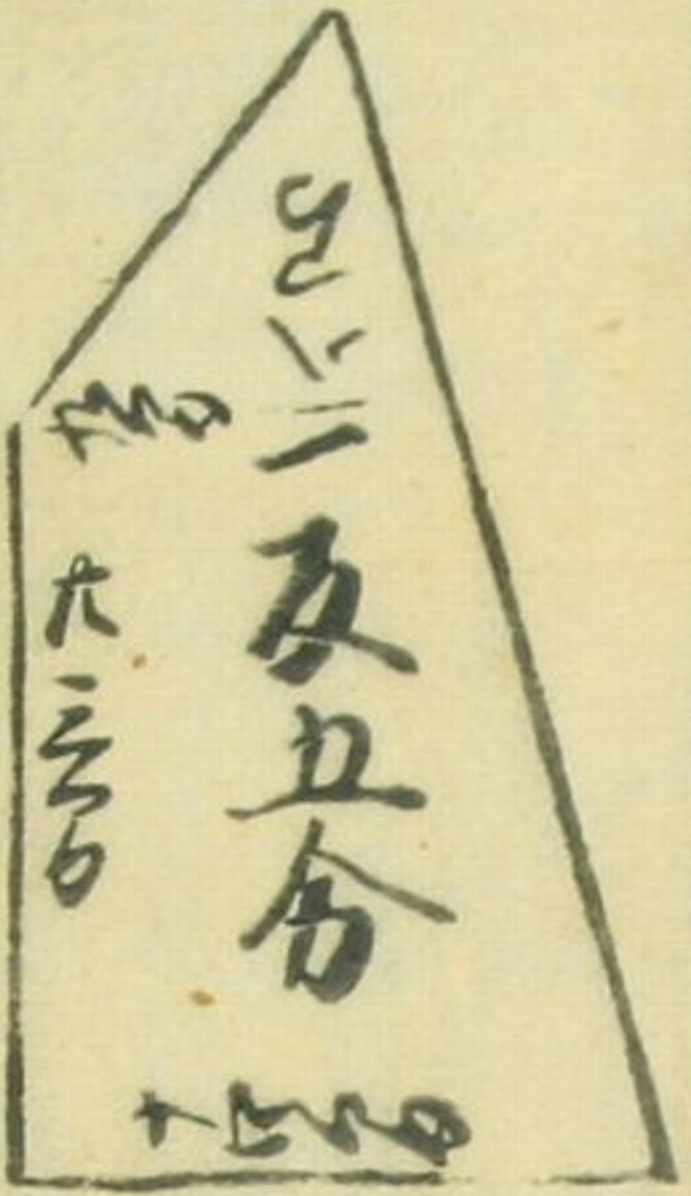


長一尺又
 一及九畝六寸五分
 長八寸五分
 長一尺又五分

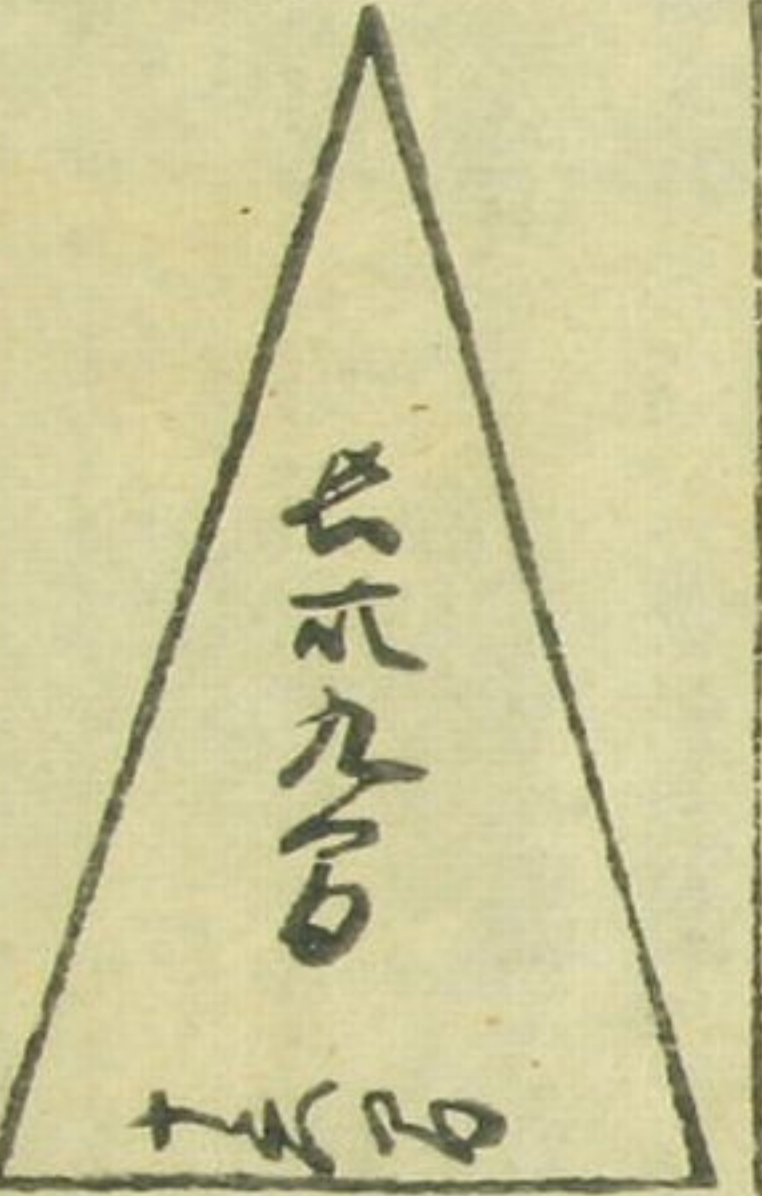


長一尺又五分
 長八寸五分
 長一尺又五分

長六尺
 長六尺



長一尺又五分
 長八寸五分
 長一尺又五分



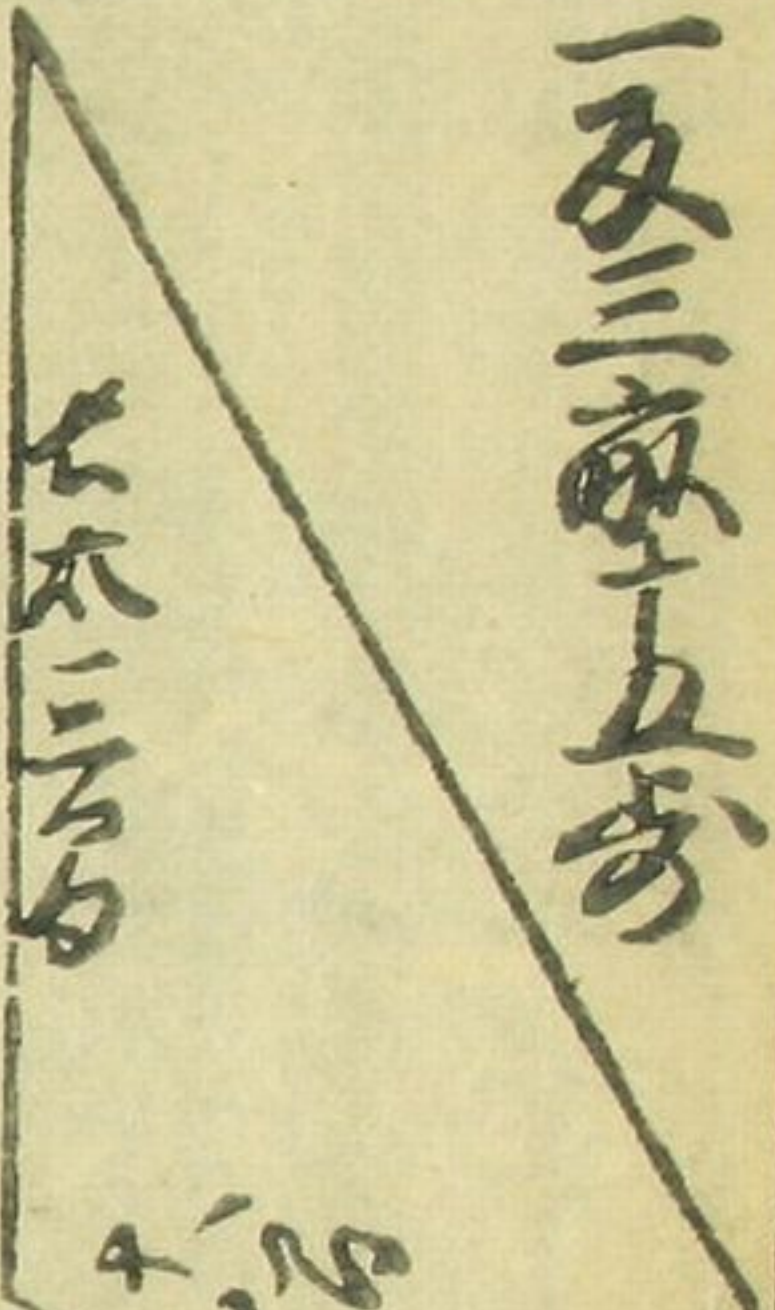
長一尺又五分
 長八寸五分
 長一尺又五分

信邪悉統曆節

有明

綱

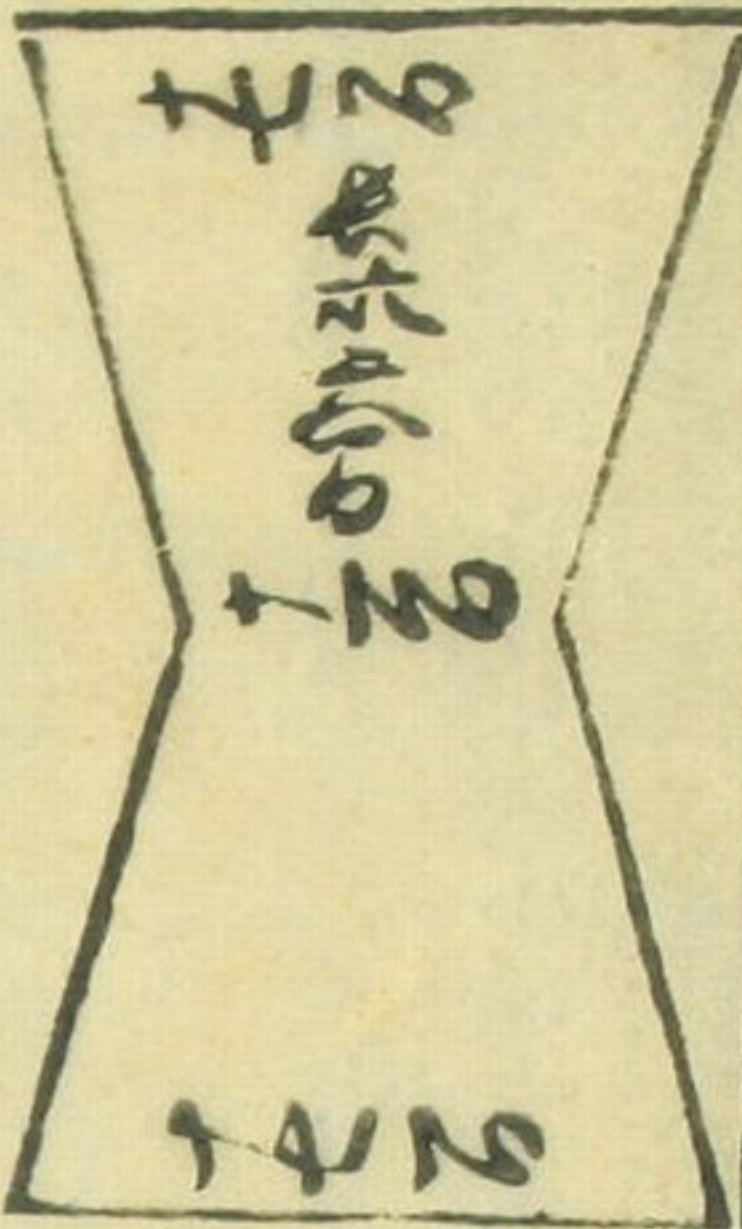
一及三敵一及



一及三敵一及

又言 敵 九 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一及三敵一及 言 七言 九言 十一言 十三言 十五言 十七言 十九言 二十言



一及三敵一及 言 七言 九言 十一言 十三言 十五言 十七言 十九言 二十言

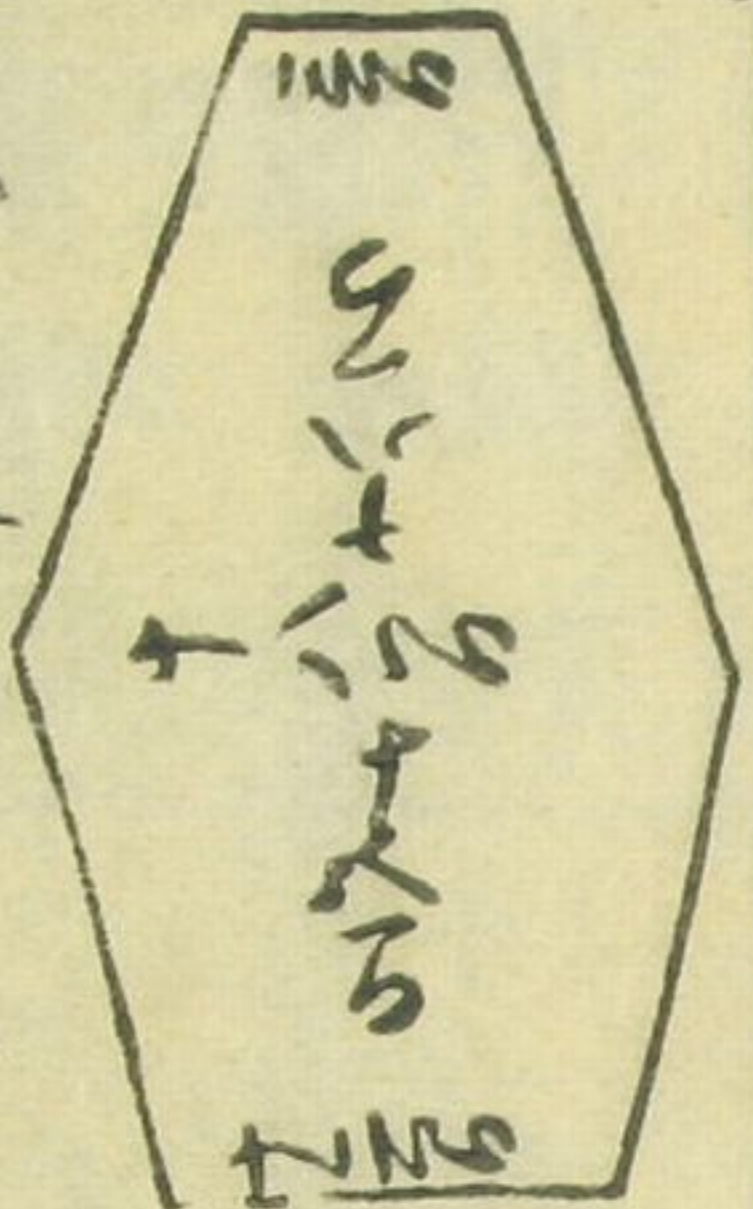
一及三敵一及 言 七言 九言 十一言 十三言 十五言 十七言 十九言 二十言

十 二十 三十

言及三敵

七言

言及三敵 七言 九言 十一言 十三言 十五言 十七言 十九言 二十言



言及三敵 七言 九言 十一言 十三言 十五言 十七言 十九言 二十言

言及三敵 七言 九言 十一言 十三言 十五言 十七言 十九言 二十言

部 録 録

三

一九二〇

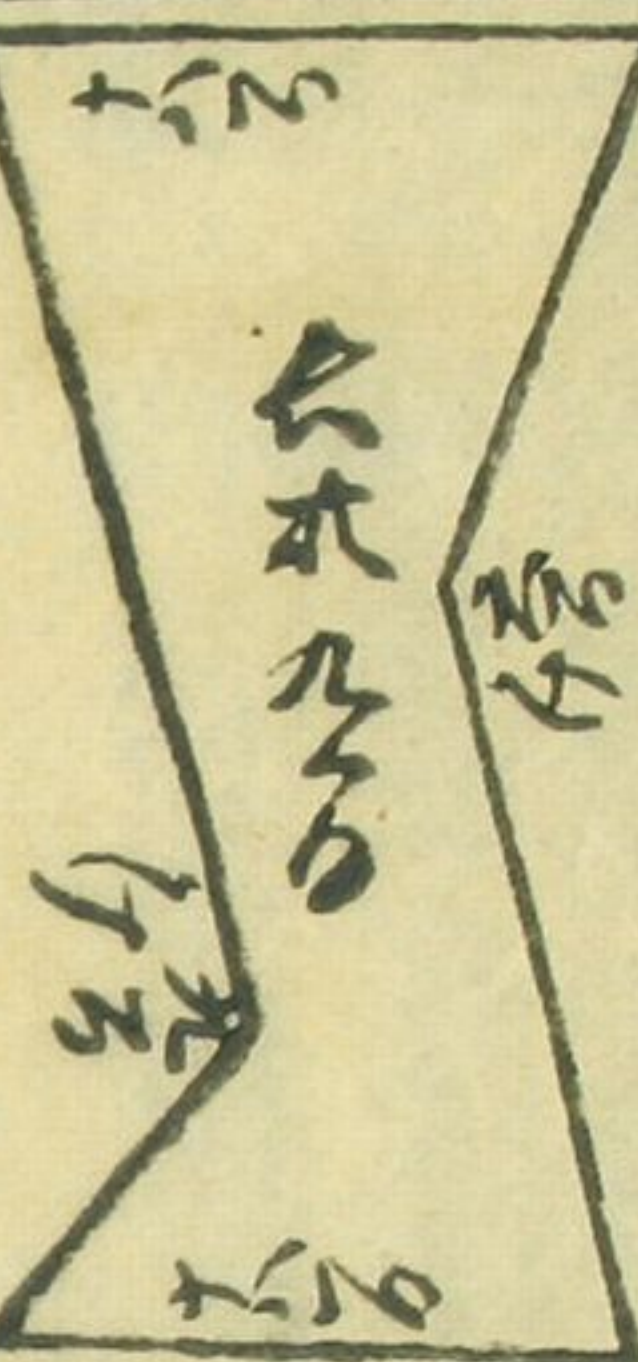
二五〇二取大者

長五十五石

又取石小十九石と如き
七十五石成二ツと取大
十五石成二取小と成
かれば百石成二取一と三取少と成り

信

大木九石



〇一及二取大者
成石五十五石と成り
成石五十五石と成り

又取石小十九石と如き
七十五石成二ツと取大
十五石成二取小と成
かれば百石成二取一と三取少と成り

部 録 録

〇一取大者

長五十五石

又取石小十九石と如き
七十五石成二ツと取大
十五石成二取小と成

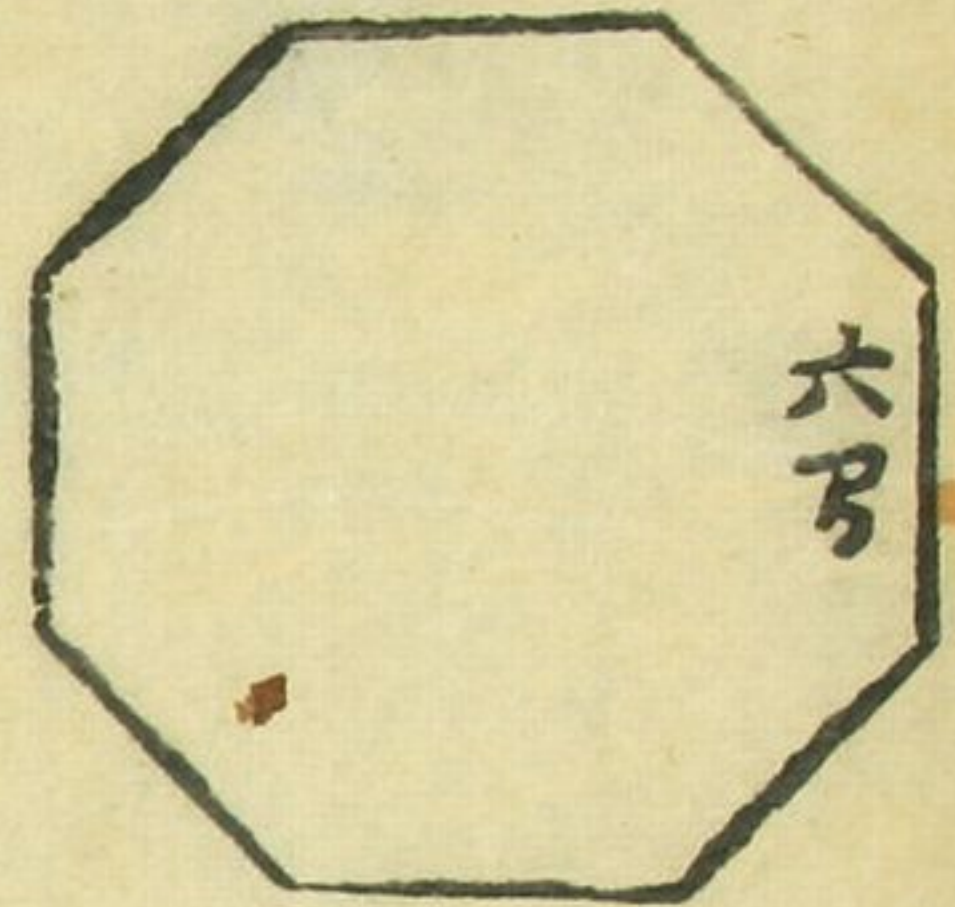
かれば百石成二取一と三取少と成り
成石五十五石と成り
成石五十五石と成り

〇二取大者

又取石小十九石と如き
七十五石成二ツと取大
十五石成二取小と成

かれば百石成二取一と三取少と成り
成石五十五石と成り
成石五十五石と成り

正徳元年
 上卷



六

八南の如くのもりてさる
 わり時し時敷ふりりり
 くとり時ふ

○百七拾三時分なりと云
 まりさるるとんたふときてめられ
 けこさるぬこれふ二とめられけ
 七二とぬこれふ八南の時分二二
 れとりりしてたさ七二とぬこれ百七
 十二時分なりと云

算式

たりの如きの事

△二及七敵る時計は七及二のまに
 してたさるるとんたふときてめられ
 けこさるぬこれふ二とめられけ

△九及三敵九一歩の時三及二のまに
 してたさるるとんたふときてめられ
 けこさるぬこれふ二とめられけ

△九及三敵七とぬこれふ二とめられ
 けこさるぬこれふ二とめられけ
 △九及三敵七とぬこれふ二とめられ
 けこさるぬこれふ二とめられけ

△二二方より百をたす物成り又分が
とら時たさるる物成りなりといふ時

如

小方より百八拾をらる

大方二方より百をたすもそふたつ又らる

加れ物成り二方より百八拾をたさるる也

△二二又百七の二二をたす物成り二方より百

をたすをたさる物成りなりといふ時

六つ八分よりなる

之物成りなりといふ時

△二二より二方より二二をたす物成り二方より百

をたすをたさる物成りなりといふ時

二二より二二よりなる

二二の二二より物成りなりといふ時

大方より二二より物成りなりといふ時

△物成り小方より百八拾をたさる物成りなり

大方より二二よりなる

二二より二二よりなる

二二より二二よりなる物成りなりといふ時

△物成り二方より百八拾をたさる物成りなり

大方より二二よりなる物成りなりといふ時

日身 夫身合ふ八百三終不心計しん人

右小方公の八百廿名と云ふは小孫と云ふ

△細小方公の百終不心計しん人

右小方公の百終不心計しん人

外方公の百終不心計しん人

右小方公の百終不心計しん人

△少身公の百終不心計しん人

右身公の百終不心計しん人

夫身公の百終不心計しん人

右小方公の百終不心計しん人

△中身公の百終不心計しん人

右身公の百終不心計しん人

夫身公の百終不心計しん人

△右小方公の百終不心計しん人

右身公の百終不心計しん人

△中身公の百終不心計しん人

右身公の百終不心計しん人

夫身公の百終不心計しん人

△右小方公の百終不心計しん人

右身公の百終不心計しん人

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時
とた^一め^二す^三る^四ら^五ふ^六れ^七こ^八い^九時

中

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

中

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

中

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

中

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

中

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△中字に日なす^三字九^二字^一百^一字^一時

△又...
...
...
...

其母

...
...
...

...
...
...

△年...
...
...

...
...
...

知
八石又...

...
...
...

...
...
...

△派...
...
...

...
...
...

...
...
...

細
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

角のるすはゆかしのたうりゆりて

^{口角} ^{口角} 小角のるすはゆかしのたうりゆりて

之半のるすはゆかしのたうりゆりて

よかたのるすはゆかしのたうりゆりて

ち中角のるすはゆかしのたうりゆりて

まのるすはゆかしのたうりゆりて

三のるすはゆかしのたうりゆりて

のるすはゆかしのたうりゆりて

△角のるすはゆかしのたうりゆりて

角のるすはゆかしのたうりゆりて

入るすはゆかしのたうりゆりて

少るすはゆかしのたうりゆりて

△たのるすはゆかしのたうりゆりて

角のるすはゆかしのたうりゆりて

のるすはゆかしのたうりゆりて

如れのるすはゆかしのたうりゆりて

加れのるすはゆかしのたうりゆりて

のるすはゆかしのたうりゆりて

のるすはゆかしのたうりゆりて

のるすはゆかしのたうりゆりて

△三十二角のちるは二百八拾九角の時
其のちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時

九拾八分一 一

△三十二角のちるは二百八拾九角の時
其のちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時
ちるは二百八拾九角の時

△六十角のちるは二百八拾九角の時

其のちるは二百八拾九角の時

ちるは二百八拾九角の時

△九十角のちるは二百八拾九角の時

其のちるは二百八拾九角の時

△九十角のちるは二百八拾九角の時

其のちるは二百八拾九角の時

長一丈二寸七分

田長一丈二寸五分
田長一丈二寸七分

△草角

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

△草角

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

○草角の字は、草の字に角を添へて成る。

~~~~~

△~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

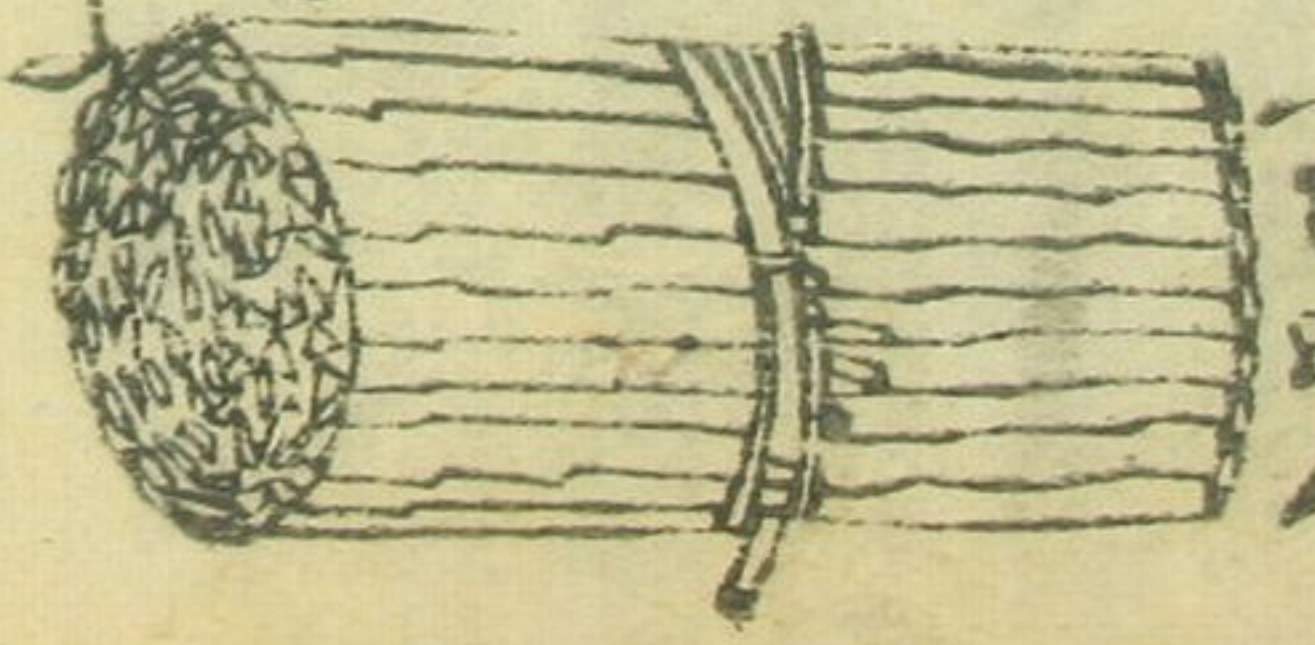
~~~~~

△~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~




~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

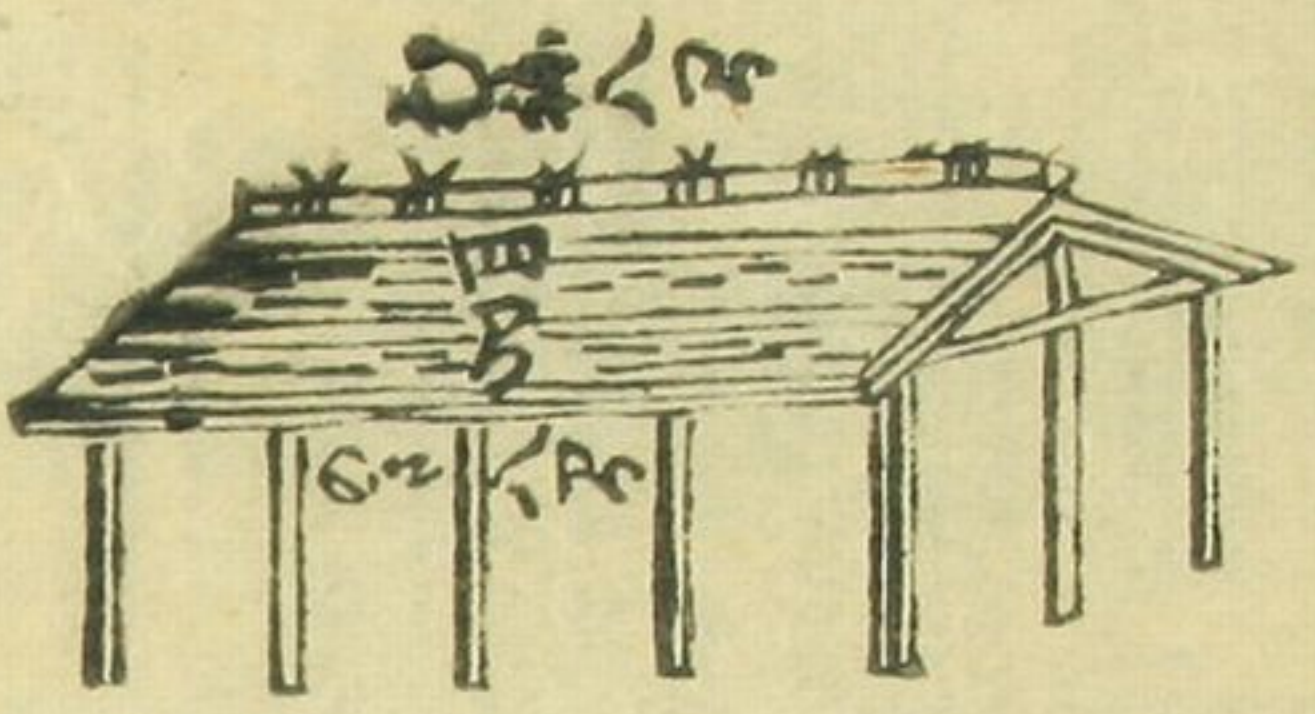
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

第九

屋縁のまき板のりり事



け押敷おこしきり平定降ろ  
こけいさしきりまき板を  
合とつ時おのきおしよ  
申おししはくさしじのまき  
わごちから合しすまき  
板のりり事おら板おし板敷  
何程入そとつ時よ

費 六万令令八十般八とつ事

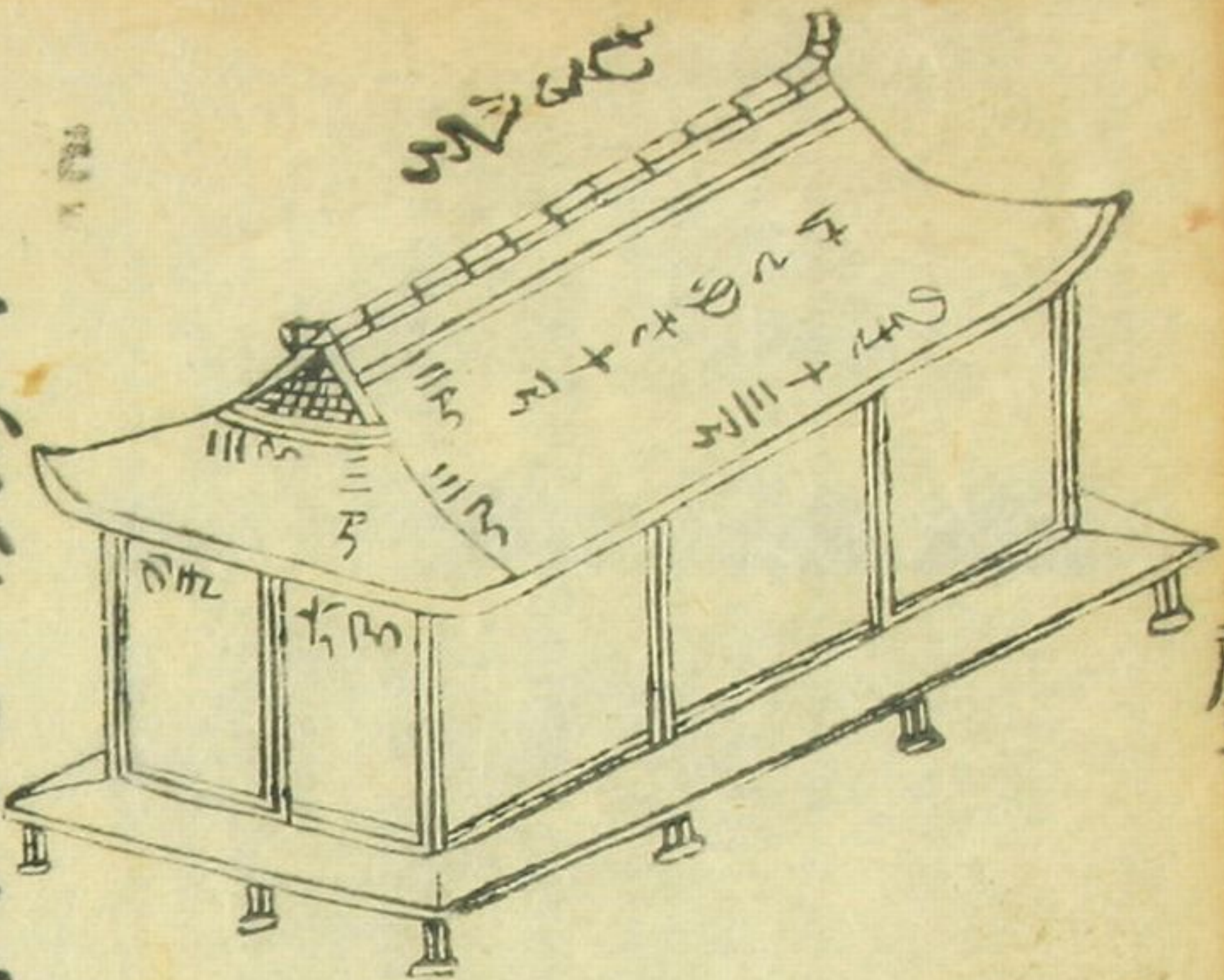
と二坪の法は三五の板を平定降ろのりり事

下りおまこれと右おららまきおし又は板  
のりり事おまきりしよ又おまかおれお  
おまこれおしとらと下りおまきり  
合令の後敷八分入とまら

△月太中平定降ろとらと三坪の板を  
一すおしつては板敷おまきり合とつ時よ

九万令百二終二板三分入とら

之の二三又おまきり降ろおれおしと下りおまきり  
おまきり板のりり事おしとらおれ九万  
令百令二まら三分入とら



蔵

は降敷るあかしの  
う時よ

おのちりよ

まゝのちりよ

角のちりよ

百又松七坪に分る

のまのちりよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

とてかいるよ

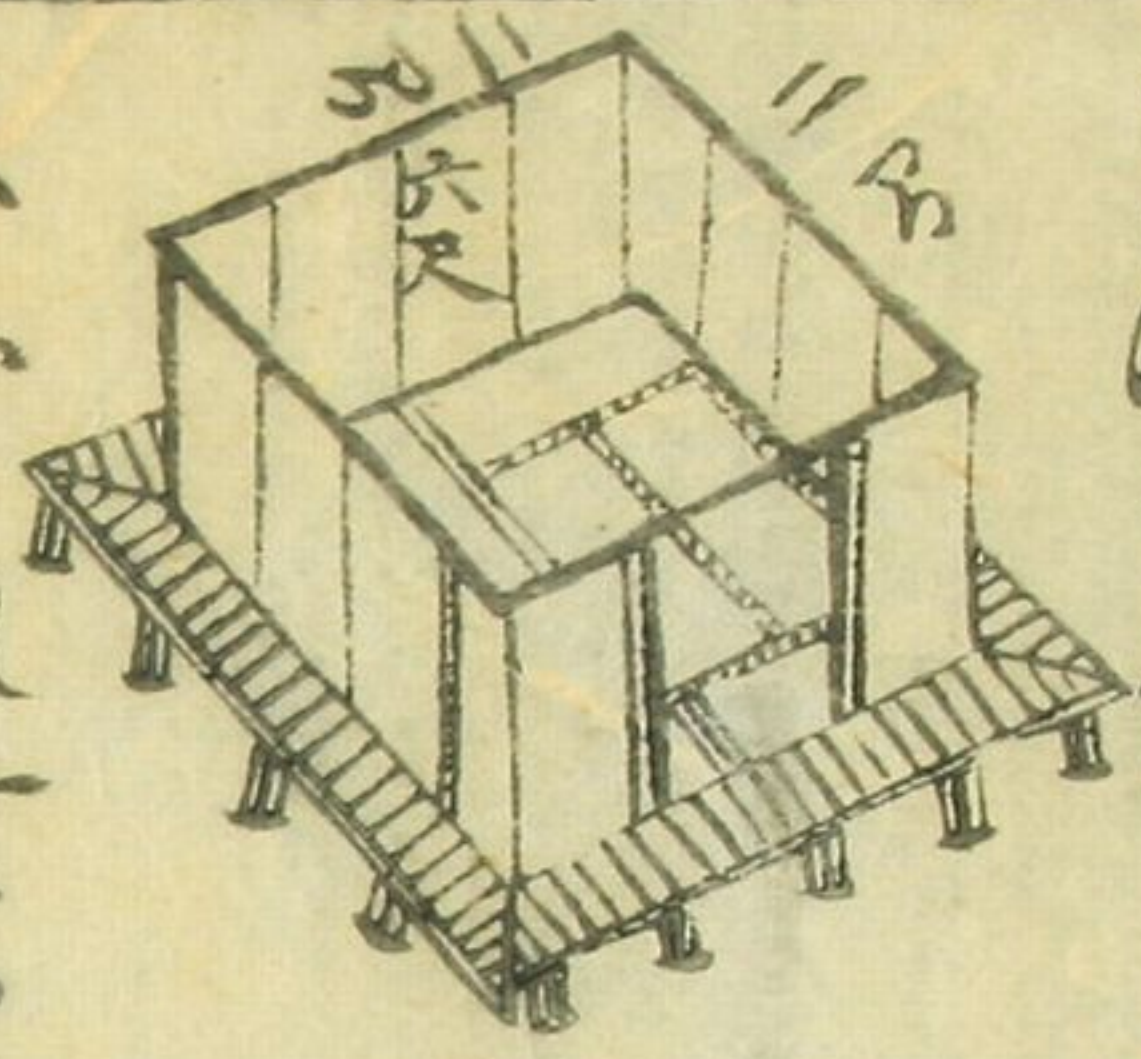
とてかいるよ







△いへる向方のちよひのる金三萬、七廿二時  
の海をふりて入るころの海より



三十一の海より

つるまをのりして上りて  
十二の海より九の海  
はつて入るころの海より

六の海にけりてふりて又入りて  
十二の海より九の海にけりて  
七の海より六の海にけりて  
八の海より七の海にけりて  
九の海より八の海にけりて  
十の海より九の海にけりて

第十一

△金三萬の時、海にけりて、  
三の海より二の海にけりて、  
二の海より一の海にけりて、

三の海にけりて、

△金三萬の時、海にけりて、  
九の海より八の海にけりて、  
八の海より七の海にけりて、  
七の海より六の海にけりて、  
六の海より五の海にけりて、  
五の海より四の海にけりて、  
四の海より三の海にけりて、  
三の海より二の海にけりて、  
二の海より一の海にけりて、

六の海にけりて、

△金三萬の時、海にけりて、  
七の海より六の海にけりて、  
六の海より五の海にけりて、  
五の海より四の海にけりて、  
四の海より三の海にけりて、  
三の海より二の海にけりて、  
二の海より一の海にけりて、

金... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...

|       |      |        |
|-------|------|--------|
| 三十一分百 | 三十一箇 | 百六拾金一  |
| 三十二分百 | 三十二箇 | 百六拾金二  |
| 三十三分百 | 三十三箇 | 百六拾金三  |
| 三十四分百 | 三十四箇 | 百六拾金四  |
| 三十五分百 | 三十五箇 | 百六拾金五  |
| 三十六分百 | 三十六箇 | 百六拾金六  |
| 三十七分百 | 三十七箇 | 百六拾金七  |
| 三十八分百 | 三十八箇 | 百六拾金八  |
| 三十九分百 | 三十九箇 | 百六拾金九  |
| 四十分百  | 四十箇  | 百六拾金十  |
| 四十一分百 | 四十一箇 | 百六拾金十一 |
| 四十二分百 | 四十二箇 | 百六拾金十二 |
| 四十三分百 | 四十三箇 | 百六拾金十三 |
| 四十四分百 | 四十四箇 | 百六拾金十四 |
| 四十五分百 | 四十五箇 | 百六拾金十五 |
| 四十六分百 | 四十六箇 | 百六拾金十六 |
| 四十七分百 | 四十七箇 | 百六拾金十七 |
| 四十八分百 | 四十八箇 | 百六拾金十八 |
| 四十九分百 | 四十九箇 | 百六拾金十九 |
| 五十分百  | 五十箇  | 百六拾金二十 |

三寸六分

三寸道

百九十九枚

三寸五分

三寸道

百九十九枚

三寸四分

三寸道

百九十九枚

三寸三分

三寸道

百九十九枚

三寸二分

三寸道

百九十九枚

三寸一分

三寸道

百九十九枚

三寸

三寸道

百九十九枚

二寸九分

二寸道

百九十九枚

二寸八分

二寸道

百九十九枚

二寸七分

二寸道

百九十九枚

二寸六分

二寸道

百九十九枚

二寸五分

二寸道

百九十九枚

二寸四分

二寸道

百九十九枚

二寸三分

二寸道

百九十九枚

二寸二分

二寸道

百九十九枚

二寸一分

二寸道

百九十九枚

二寸

二寸道

百九十九枚

一寸九分

一寸道

百九十九枚

一寸八分

一寸道

百九十九枚

一寸七分

一寸道

百九十九枚

二寺二分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百

二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百

二寺二分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百

二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百  
二寺一分百

二守九分 百

二守九分 百

百九十分 百

二守二分 百

二守二分 百

百二分 百

守 百

守 百

百 百

二守六分 百

二守六分 百

百六十分 百

二守三分 百

二守三分 百

百三分 百

二守一分 百

二守一分 百

百一分 百

二守五分 百

二守五分 百

百五十分 百

二守四分 百

二守四分 百

百四十分 百

二守七分 百

二守七分 百

百七十分 百

二守八分 百

二守八分 百

百八十分 百

二守十分 百

二守十分 百

百十分 百

二守十二分 百

二守十二分 百

百二十分 百

二守十五分 百

二守十五分 百

百五十分 百

二守二十分 百

二守二十分 百

百二十分 百

二守三十分 百

二守三十分 百

百三十分 百

二守四十分 百

二守四十分 百

百四十分 百

二守五十分 百

二守五十分 百

百五十分 百

二守六十分 百

二守六十分 百

百六十分 百

二守七十分 百

二守七十分 百

百七十分 百

二守八十分 百

二守八十分 百

百八十分 百

二守九十分 百

二守九十分 百

百九十分 百





三寸七分 百

三寸六分 百

三寸五分 百

三寸四分 百

三寸三分 百

三寸二分 百

三寸一分 百

三寸 百

二寸九分 百

三寸七分 百

三寸六分 百

三寸五分 百

三寸四分 百

三寸三分 百

三寸二分 百

三寸一分 百

三寸 百

二寸九分 百

三寸七分 百

三寸六分 百

三寸五分 百

三寸四分 百

三寸三分 百

三寸二分 百

三寸一分 百

三寸 百

二寸九分 百

三寸九分 百

三寸八分 百

三寸七分 百

三寸六分 百

三寸五分 百

三寸四分 百

三寸三分 百

三寸二分 百

三寸一分 百

三寸 百

三寸九分 百

三寸八分 百

三寸七分 百

三寸六分 百

三寸五分 百

三寸四分 百

三寸三分 百

三寸二分 百

三寸一分 百

三寸 百

三寸九分 百

三寸八分 百

三寸七分 百

三寸六分 百

三寸五分 百

三寸四分 百

三寸三分 百

三寸二分 百

三寸一分 百

三寸 百



秋中

五月之内

梶海渡也

上奈五市郎

寛永十一年

戌八月八日

山城国嵯峨之住人

吉田七兵衛尉

光由

